

海上自衛隊の情報漏洩

特定秘密を漏洩したとして懲戒免職になった海上自衛隊の1等海佐、井上高志（54）。1等海佐といえば昔でいう大佐、その大佐が57歳の定年を前に書類送検されて懲戒免職になる程の情報漏洩とは何だろうと気になってしまった次第です。

日本は平和という事で、スパイ防止法や国家反逆罪が無いので危機感を持っている幹部自衛官は少ないと思います。この件にしても、井上1佐はOB（先輩）からの頼みを断れず、普通に話をしたのですが、まさか特定秘密や情報漏洩になるとは思っていなかったと想像できます。1佐にまでなれたという事は防衛大学校卒業なのでしょうけど、そこの先輩に言われたら断りづらいと申しますか、階級社会の中では先輩の言は命令と同じ、断ったらどんな目に遭わされるか？と考えるというのも容易に想像できます。こういうのは階級社会、縦割り社会の弊害と言ったらそれまでですが、日本の悪しき伝統の一つかもしれません。

極論で例えれば戦前、戦中の、上官の命令は天皇陛下の命令、というやつですね。上官の命令には絶対服従という事を18歳の時から刷り込まれているのですから、54歳になった今、逆らえる訳がないんですよ、悲しいですけど。因みに前述したスパイ防止法や国家反逆罪があるアメリカ軍では最悪、銃殺刑という事も有り得るので職務上知り得た秘密の厳守というものは徹底されており、例え、上官の命令、大統領の命令であっても秘密を厳守する軍人が多いのです。

親バカ岸田総理の身内びいき

先日、報道で岸田総理が身内びいきで10月に総理大臣秘書官に起用した長男の岸田翔太郎くんが総理官邸内で数人しか知り得ない「機密情報」を民放の記者に漏洩させたという話が出ておりましたが、これが本当なら大問題ですよ？その後、官邸では火消しに躍起になっていたという報道もチラホラと出掛かったにも拘わらず、突然、ピタリと報道が止まってしまいました。不思議ですね。

この話も特定秘密に指定されてしまい情報漏洩したら大変な事になってしまうという事になったのでしょうかねえ？総理大臣の権力って凄いんですね（笑）でも父岸田総理から叱責されたという報道とフジテレビの既婚女性記者と密接交際という報道がありますからね。身内びいきが招いたスキャンダル、岸田文雄総理も親バカ過ぎますね。バカな息子をかばうのではなく、国民のための情報管理をして欲しいものです。

後発地震注意情報

大規模な地震が起きた場合、その後の巨大地震発生への注意を呼び掛ける後発地震注意情報の運用が12月16日正午から始まりましたが、これはどんな時に出されるかと思ったら発表条件として日本海溝、千島海溝沿いでマグニチュード7以上の地震が発生した場合だそうで、岩手県内の対象エリアは高さが3m以上の津波、又は震度6弱以上の揺れが想定される地域との事ですから大槌町はどちらにも該当してしまっております。

情報は気象庁が地震の発生から最大2時間掛けて最初の地震が発表の条件を満たす規模かどうかを精査した後、内閣府と気象庁が合同で記者会見を開いて情報を発表し、発表された場合、1週間ほど国や自治体は災害への備え、防災への対応を呼び掛けるとの事。もし本当に南海トラフを震源とする巨大地震が発生したら即座に愛知県に向かいます。

本年が皆様にとりまして御多幸で良い年になりますよう衷心より御祈り申し上げます。

いつまでも御元気でいて欲しいのです。

(岩手県大槌町 小川 孝幸)